

・2013年度 BI グローバルシンポジウム 「アジアにおける経済・経営学研究のパーспекティブ」

甲南大学 BI 研究所と国立聯合大学（台湾、苗栗市）管理学院との学術研究交流協定締結を記念し、「アジアにおける経済・経営学研究のパーспекティブ」という統一テーマで、問題意識や研究アプローチを多面的に検討、考察、議論するシンポジウムを下記のように開催しました。

日時 2013年9月21日（土） 13:30～17:20 場所 甲南大学 第1会議室（3号館7階）

13:30～ ご挨拶 甲南大学 学長 杉村 芳美

【1】国立聯合大学(NUU)管理学院（台湾）における研究アプローチ

13:35～14:15

“The Chinese Circular Economy Law: The Relationship between Economic Growth and the Recyclable Resource”

Dr. Chi-ang Lin (林其昂), Professor and Dean, Dept. of Finance, NUU College of Management

“The Role of Self-Concept in the Mechanism Linking Proactive Personality to Employee Work Outcomes”

Dr. Pen-Yuan Liao (廖本源), Associate Professor, Dept. of Business Management, NUU College of Management

“Advance Business Innovation through Industrial Technology Foresight Approach”

Dr. Yu-Tso Chen (陳宇佐), Assistant Professor, Dept. of Information Management, NUU College of Management

【2】甲南大学ビジネス・イノベーション研究所における研究アプローチ

14:25～15:05 Economics

東アジア諸国の産業 甲南大学経済学部教授 高 龍秀

関西の成長戦略と特区構想 甲南大学経済学部教授 稲田 義久

神戸とアジア 甲南大学経済学部教授 岡田元浩

近代アジア経済史 甲南大学経済学部専任講師 平井健介

15:15～15:55 Management

ファイナンス理論の浸透度：日韓比較 甲南大学経営学部教授 馬場大治

知的財産マネジメントの研究 甲南大学経営学部教授 SHRESTHA Manoj

経営理念の研究 甲南大学経営学部教授 奥野明子

従業員の自発性を促す職場のマネジメント 甲南大学経営学部教授准教授 尾形真実哉

（休憩）

16:05～16:25 Accounting

日本の法人税制におけるタックス・インセンティブ 甲南大学経営学部教授 古田美保

次世代マネジメント・コントロール 甲南大学経営学部教授 長坂悦敬

16:30～16:50 Commerce

プラットフォーム時代のイノベーション 甲南大学経営学部教授 中田善啓

ゲーム理論による提携形成過程 甲南大学経営学部教授 三上和彦

【3】総合討論 17:00～17:20

コメント 日本情報経営学会関西支部長 奥田 幸治 氏（元三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) チーフコンサルタント

17:30～ 交流会



・韓国国立ハンバット大学グローバルシンポジウム (2013年3月14日)

BI 研究所と研究交流協定を結んでいる韓国テジュン市の国立ハンバット大学でシンポジウムが開催され、下記のようなアカデミックプレゼンテーション、学術交流が行われました。

司会：Prof. W. S. Par (通訳：Prof. Pak)

Prof. BOKHYUN CHO 学部長 挨拶

1. Innovation of the platform age :Open business model (甲南大学中田教授)
2. Chessbrough' s aspect of BM in Daeduk Valley firms (Prof. Min Kyung Se)
3. Korean and Japanese taxation systems for R&D (甲南大学古田教授)
4. IT and management accounting in Korean and Japanese companies (甲南大学長坂教授)
5. BPM 管理会計方法としての構築 (新潟大学李教授)
6. Technology roadmap and its successful implementation strategy (Prof. Won Il Lee)

総合討議



・2012年度 BI グローバルシンポジウム (第7回シンポジウム)

グローバル化に向かう日韓企業の実態と展望— 文化と組織, ガバナンス, 会計基準, 財務政策, マネジメント —

甲南大学 BI (ビジネス・イノベーション) 研究所では、文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択 (2010～2012年度) された研究プロジェクト「関西地域発イノベーション・プラットフォームの構築」を進めています。この度、その一環として日韓企業の実態比較と展望について考えるシンポジウムを開催しました。K-POP ブームが起き、スマートフォンのシェアでは世界トップとなった韓国企業は様々な分野でグローバル化を加速しています。一方、日本企業は新たな経営モデルを模索し続けています。日本と韓国は東アジアの隣国として関係が深く、文化や社会構造の多くの類似点と明確な相違点について再認識することはとても重要です。企業のカバナンス、財務政策、マネジメント、IT 戦略などの違いはどのようになっているのでしょうか。グローバル化に対応するために韓国では既に国際会計基準(IFRS)を導入しています。その実態はどうなっていて、日本企業は IFRS についてどう考えているのでしょうか。BI 研究所では、日韓企業の経営実態の相違を明らかにすべく、協定を結んでいる韓国国立ハンバット大学 (Hanbat National University) インキュベーション・センターの協力を得て、2011年10月から12月にかけて、両国の上場企業を対象に大規模なアンケート調査を実施しました。このシンポジウムではその結果についても報告します。また、パネル

ディスカッションでは約130名の参加者とともに日韓企業の展望について共に考えました。

日時 2012年7月17日(火) 13:00~16:10

場所 甲南大学 岡本キャンパス 甲友会館

【プログラム】

13:00~ ご挨拶

基調講演

13:05~13:30 日韓の企業・社会文化構造の比較 — 儒教文化と組織・個人の行動様式 —

新潟大学経済学部教授 李 健泳

統一テーマ：グローバル化に向かう日韓企業の比較

13:35~13:55 国際会計基準(IFRS)の日韓企業への影響 甲南大学経営学部教授 若林公美

14:00~14:30 韓国におけるIFRS導入実態 Hanbat National Univ. Prof.Sung-Wghan, Park
Hanyang Univ. Prof.Yoo Chan, Kim

14:40~14:55 韓国のコーポレート・ガバナンス 甲南大学経済学部教授 高 龍秀

14:55~15:10 日韓企業の企業目的 甲南大学経営学部教授 馬場大治

15:10~15:25 日韓企業におけるIT戦略、マネジメントの実態比較 甲南大学経営学部教授 長坂悦敬

15:30~16:05 パネルディスカッション

16:10 終了

2012-2013年度 BI 研究会

第24回研究会 「社会科学系大学院生の研究発表会」

コーディネーター BI 研究所兼任研究員 三上 和彦

日時 12月21日(土) 11:30~12:00 場所 222教室

「大阪・日本橋の商業集積変質からみたエリア・マーケティングの課題に関する研究」

甲南大学大学院社会科学部研究科経営学専攻修士課程 古米 祐太 氏

第23回研究会 「ビジネスモデルのイノベーション」

コーディネーター BI 研究所兼任研究員 中田善啓

日時 12月13日(金) 13:30~16:30 (於:NC東京 サピアタワー)

① 「ビジネスモデルの展開」 BI 研究所兼任研究員 中田 善啓教授

② 「中小企業のイノベーションを阻害するものとその対応を考える！-開発下請けからの脱却、高価値企業への転換」 株式会社テクノ・インテグレーション 社長 出川 通氏

第22回研究会 「アジア・中国ビジネスの今！-日本企業の対応を考える」

コーディネーター BI 研究所兼任研究員 杉田俊明

日時 6月13日(金) 14:00~17:00 (於:NC東京 サピアタワー)

① 「銀行の企業支援業務からみた昨今の中国ビジネスと日本企業の対応」

株式会社りそな銀行 アジア・ビジネス推進センター所長 伊沢 潔氏

② 「日本の製造業の競争優位とアジア・中国でのビジネス」

サカイオーボックス株式会社 特別顧問 藤澤 慶彦氏(元東レ株式会社常務取締役)



第21回研究会 「アジア・中国ビジネスの最新動向と日本企業の対応」

日時：2013年1月16日（水） 14:40～17:50 甲南大学

”日本企業に求められる新たな競争優位は何か ―新時代におけるアジア・中国ビジネスの戦略と実務”

アジア諸国および日本における企業間関係はますます深まりつつある一方で、様々な政治・外交リスクがビジネスに大きな影響を与えています。このような状況の中で日本企業はどのように競争優位を維持し、アジア・中国ビジネスに対応していくべきかについて検討するために、下記の通り研究会を開催しました

日時 2013年1月16日（水）14:40～17:50（休憩並びに質疑応答時間を含む）

場所 甲南大学 岡本キャンパス 132教室（1号館3階）

司会・開会の挨拶： BI研究所所長・経営学部教授 長坂悦敬 氏

講師： BI研究所兼任研究員・経営学部教授 杉田俊明 氏

第20回研究会 “経営学探求とビジネスデザインの実践”

甲南大学ビジネス・イノベーション(BI)研究所では、2010年度から文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択された「関西地域発イノベーション・プラットフォームの構築」研究プロジェクトを進めてきました。この研究プロジェクトは、過去5年間の社会連携研究の成果を基盤に、グローバル社会への対応から、アジア地域に研究連携を広げ、更にはその中で本研究所がプラットフォームとしてさまざまな研究連携を実践し、またその中でどのような役割を果たしていくのかを検証するものです。その一環として、この度、甲南大学大学院社会科学研究科と共催で第20回研究会を開催しました。

多くの皆様にご参加いただき、有意義な議論をいただきましたこと、深く感謝いたします。

日時 2012年12月15日（土） 11:00～14:00

場所 甲南大学 岡本キャンパス 221教室（第1部）、142教室（第2部）

座長：甲南大学経営学部教授 三上和彦

【プログラム】

第1部 <社会科学研究科大学院生による研究報告> 221教室

11:00～12:00

発表テーマ：「バランスト・スコアカードの変遷と将来展望」

経営学専攻修士課程 山上 惣

発表テーマ：「デジタル革命が企業経営へ与えたインパクト」

経営学専攻博士課程 栗田 善伸

第2部 <甲南大学卒若手経営者、事業継承ビジネスパーソンによる研究報告> 142教室

12:55～13:55

「事業設計の構造背景 ～世の中に提供できる価値とは～」

株式会社G-cube 代表取締役社長 後藤広樹 氏（経営学部卒）

「経営理論と実践の違いー起業4年目からの考察ー」

天創堂株式会社 代表取締役社長 粕井健次 氏（経営学部卒）

「中小企業の生き残りをかけたイノベーションー4代目後継者改革の試みー」

淀川精機株式会社 専務取締役 伊達康一 氏（経営学部卒）

第19回研究会 「イノベーション・プラットフォームの理論と実際」

日時： 2012年5月29日（火）16:30-18:30

場所： BI研究所

BI（ビジネス・イノベーション）研究所では、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」として、様々な視点から切り口から関西地域と東アジアの連携による創発型イノベーション・プラットフォーム構築に関する研究を進めている。本研究会

では各研究者からその概要について報告した。

1. 研究報告

マルチサイド・プラットフォームについての理論的研究	中田善啓 教授
提携形成におけるファシリテーターの役割	三上和彦 教授
IFRS 導入意識に関する日韓企業実態比較研究	若林公美 教授
日韓企業の企業目的に関する研究	馬場大治 教授
IT 投資、管理会計に関する日韓企業実態比較研究	長坂悦敬 教授
アジアにおけるベンチャービジネス環境の現状と課題	倉科敏材 教授
韓国企業のイノベーション—日本企業はどう対抗すべきか？	高 龍秀 教授
企業におけるイノベーション支援の政策税制	古田美保 教授
将来を担う大学生の就職観とキャリア観の日韓比較	尾形真実哉 准教授

2. ディスカッション